

1. 意見募集の趣旨

- スマートプラチナ社会推進会議(以下「会議」という。)における検討に資するため、スマートプラチナ社会実現のための成功モデルの展開方策等について、広く意見を募集する。
- 本意見募集で提出された意見は、会議における検討に活用する。

2 意見募集の内容

- 以下の検討事項について意見募集を行う(別添参照)。
 - ① スマートプラチナ社会実現のための成功モデルの展開方策
 - ② ニュースmartプラチナ社会実現のためのICTイノベーション創出
 - ③ スマートプラチナ社会の実現による新産業創出とグローバル展開方策

3. 意見募集期間

- 戦略部会第一回会合終了後、準備でき次第、3週間程度の期間で募集する。

4. 意見募集要領

- 総務省ホームページに掲載するほか、報道発表を行う。

- ICT超高齢社会構想会議の検討成果を踏まえ、スマートプラチナ社会の実現を早期かつ着実に図るべく、社会モデルの構築と全国展開に必要な実務的課題の解決、環境整備・人材育成のあり方、今後の普及に向けたマイルストーン等、より具体的に検討することを目的として、スマートプラチナ社会推進会議を開催。

主な検討事項

①スマートプラチナ社会実現のための成功モデルの展開方策

- ICT超高齢社会構想会議で提言いただいたプロジェクトを全国展開するためのモデルのあり方とマイルストーンの検討が必要ではないか。
 - ✓ 成功モデルの構築
 - ✓ 全国展開方策・社会実装のあり方、マイルストーン
 - ✓ プロジェクト推進に必要な検証体制のあり方 等

【成功モデルイメージ】

- 例①: レセプト等、収集・蓄積したビッグデータの解析による健康モデル
- 例②: 歩きたくなる街づくりとの連動による健康モデル

②ニュースマートプラチナ社会実現のためのICTイノベーション創出

- ICT超高齢社会構想会議の提言のターゲットイヤーである2020年を見据えた技術動向等の把握と、新たなスマートプラチナ社会の実現に向けたイノベーションの創出及びそれに必要な技術要素等の検討が必要ではないか。
 - ✓ 2020年をターゲットとした市場動向・ニーズのさらなる分析、技術動向の把握
 - ✓ イノベーション創出が期待される分野の検証
(例) 予防医療ビッグデータ、バリアフリー生活環境、住宅・街づくり、ライフサポート、テレワーク 等

③スマートプラチナ社会の実現による新産業創出とグローバル展開方策

- モデル化等を踏まえつつ、諸外国の実情にあったソリューションの提示と国際展開方策の検討が必要ではないか。
 - ✓ 国際動向、諸外国ニーズの把握と分析
 - ✓ 案件形成手法、システム・サービスのパッケージ輸出のあり方 等